

会計名			刈谷の魅力発信事業				担当部	生涯学習部		
一般会計							担当課	文化振興課		
款	項	目					担当係	文化振興係		
2	1	2								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	歴史・文化財							
		施策の内容	歴史の啓発							
	目的	刈谷が持つ地域資源の魅力を生市内外へ発信し、住みたい、住み続けたい、訪れてみたいまちを目指し、定住人口の増加へ繋げる。		主たる内容	○東吉野村ウォーキング 刈谷市民が東吉野村民とともに天誅組に関する史跡をたどる。 ○刈谷市史跡めぐり 東吉野村民が刈谷市民とともに、刈谷城及び天誅組に関する史跡をたどる。刈谷城と天誅組の史跡をたどる歴史の小径冊子を作製する。 ○歴史文化のPR 刈谷の歴史文化をPRするスタンプラリーを開催する。PR用のぼりを作製する。					
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画							
		根拠法令	文化芸術振興基本法							
		対象者	対象者を限定せず		事業期間	平成26年度～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 計画	24年度実績		25年度実績		26年度実績		27年度計画		
		—		—		・歴史スタンプラリーの開催 ・PR用物品の作製、活用 ・イベントへの出展（ブース来場者数 2,134人） ・キャッチフレーズの制定、PRのぼり作製・設置 ・歴史の小径冊子の作製・配付		・歴史ガイドブックの作製、配付 ・PRブース用ミニゲーム作製 ・歴史啓発物品作製、配付 ・PRブースの出展		
成果		・歴史スタンプラリーは様々な年齢層が参加し、史跡を巡ることで、歴史を再認識してもらうことができた。 ・主要なイベントにPRブースを展開することで、市外の人たちにも刈谷が歴史のまちであることをPRできた。								
課題		・PRブースで掲示物品を充実することは出来たが、啓発グッズ等が製作できず、PRブースに寄ってもらうきっかけりに苦慮した。								
指標名称（単位）			実績値			目標値				
			24年度	25年度	26年度	27年度	29年度			
活動指標	PRブース来場者数（人）		—	—	2,134	2,500	2,700			
成果指標	刈谷の歴史に興味をもっている市民の割合（％）		37.8	—	37.9	41.0	43.0			
他市との比較検証	築城と郷土の歴史や文化の啓発を目的とした事業 織田信長公小牧山城築城450年（愛知県小牧市 平成24年度～25年度で実施） 佐倉・城下町400年記念事業（千葉県佐倉市 平成22年度～29年度で実施）									
C 事業コスト	単位：千円		24年度（決算）	25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（予算）	26年度事業費内訳			
	事業費①		0	0	3,810	8,994	合計	3,810,307円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	1,413,452円		
		一般財源	0	0	3,810	8,994	役務費	3,763円		
	職員人件費②		0	0	5,068	5,053	委託料	2,385,612円		
	総事業費（①+②）		0	0	8,878	14,047	使用料及び賃借料	7,480円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		26年度特定財源名称				
26年度までの累積事業費		0								
28年度以降の事業費見込		0								

会計名			刈谷の魅力発信事業	担当部	生涯学習部
一般会計				担当課	文化振興課
款	項	目		担当係	文化振興係
2	1	2			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	刈谷の魅力的な歴史文化を啓発することで、市民に郷土の歴史に誇りをもってもらい、刈谷に住み続けたいという気持ちの醸成を図ることが出来る。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	PRブースの展示物を組み立て式で制作するなど、持ち運びしやすくすることで、様々な場所で掲示できるようにするなど、使いやすさを重視した。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	本市に残されている歴史的な文化財を後世に継承するため、市が主体となって歴史文化に関するPRをすることは重要である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	歴史文化を継承するうえで、ゆかりの自治体との交流も重要であり、刈谷城や天誅組等に対する市民の認知度も高まっていることから、施策へ貢献している。
今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
今後、歴史博物館や亀城公園再整備にあわせた歴史的建造物の建設に向けて、まちの魅力として歴史文化を一層PRしていく必要がある。					

会計名			文化協会育成事業				担当部	生涯学習部		
一般会計							担当課	文化振興課		
款	項	目					担当係	文化振興係		
10	5	1								
PLAN概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	文化・芸術							
		施策の内容	活動の支援体制の充実							
	目的	芸術文化創造活動への市民の積極的な参加を促す。		主たる内容	様々な文化創造活動に取り組む市民が所属している刈谷文化協会の育成や刈谷をテーマとする文化事業「わたしの刈谷展」への支援を行う。					
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画							
			根拠法令							
		対象者	刈谷文化協会			事業期間	～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B事業実績 D実績 O実績 V	24年度実績		25年度実績		26年度実績		27年度計画		
		<ul style="list-style-type: none"> 刈谷文化協会へ団体補助 わたしの刈谷展受賞作品の報償金授与 文化振興指導員等の臨時職員雇用 【文化協会への加盟状況】 5部門 37部会 2,379人		<ul style="list-style-type: none"> 刈谷文化協会へ団体補助 わたしの刈谷展受賞作品の報償金授与 文化振興指導員等の臨時職員雇用 刈谷城築城480年記念芸能発表会への事業補助 【文化協会への加盟状況】 5部門 35部会 2,256人		<ul style="list-style-type: none"> 刈谷文化協会へ団体補助 わたしの刈谷展受賞作品の報償金授与 文化振興指導員等の臨時職員雇用 西三文協美術展への事業補助 【文化協会への加盟状況】 5部門 35部会 2,170人		<ul style="list-style-type: none"> 刈谷文化協会へ団体補助 わたしの刈谷展受賞作品の報償金授与 文化振興指導員等の臨時職員雇用 県文連西三河部芸能大会への事業補助 文芸祭への事業補助 		
成果		多くの市民が参加する市民文化祭など市民の創作活動の発表の機会となる様々な事業が開催され、市民の文化振興に寄与した。刈谷市美術館で開催された西三文協美術展は、9市1町1地域から出展され、約2,000人が来場され、西三河地区の文化活動の発表の場の機会が提供できた。								
課題		会員数が減少傾向であり、新規会員の獲得、特に若年層への訴求を高める必要がある。また、活動を市民に広く活動を知ってもらうため、広報に力を入れていく必要がある。								
指標名称（単位）					実績値			目標値		
					24年度	25年度	26年度	27年度	29年度	
活動指標		団体会員数（人）				2,379	2,256	2,170	2,200	2,260
指標										
他市との比較検証		安城市	文化協会会員数	H25：1,871人、H26：1,704人／市人口 約18万人						
		知立市	文化協会会員数	H25：1,663人、H26：1,380人／市人口 約7万人						
	刈谷市	文化協会会員数	H25：2,256人、H26：2,170人／市人口 約14万5千人							
C事業コスト	単位：千円		24年度（決算）	25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（予算）	26年度事業費内訳			
	事業費①		5,672	6,564	6,291	7,040	合計	6,291,250円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	賃金	3,501,250円		
		一般財源	5,672	6,564	6,291	7,040	報償費	200,000円		
	職員人件費②		424	701	634	674	負担金、補助及び交付金	2,590,000円		
	総事業費（①+②）		6,096	7,265	6,925	7,714				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		26年度特定財源名称				
26年度までの累積事業費		0								
28年度以降の事業費見込		0								

会計名			文化協会育成事業	担当部	生涯学習部
一般会計				担当課	文化振興課
款	項	目		担当係	文化振興係
10	5	1			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		普通	市民が5部門35部会に所属し、多様な文化芸術の創造活動に寄与している。部門ごとに市民文化祭を開催しており、他団体との交流も行われ、レベルアップに寄与している。わたしの刈谷展で、郷土に対する愛着を高めることができる。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	文化振興指導員が事務局をとりまとめており、事業運営や経理などが適正に行われている。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	文化活動団体を取りまとめる文化協会を窓口に、市民の発表の機会づくりとして支援することは妥当である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	市民文化祭の他に西三文協美術展を開催することで、市民が積極的に文化創造活動に関わる機会を設け、刈谷の文化振興に寄与した。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
今後も活動を広げていくために、新規会員の獲得に向けた方策を検討する必要がある。					

会計名			刈谷からの文化発信創作事業				担当部	生涯学習部	
一般会計							担当課	文化振興課	
款	項	目					担当係	文化振興係	
10	5	1							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	文化・芸術						
		施策の内容	創作・発表の機会づくり						
	目的	市制施行65周年を記念して、本市の持つ新たな魅力や地域文化を掘り起こし、その成果を舞台を通じて市の内外に発信することで、市民にふるさと刈谷への愛着・誇りを感じていただくとともに、本市の知名度を向上させる。	主たる内容	○平成26年度は、公募する市民と共に本市の魅力を掘り起こし、本市を舞台とするオリジナル劇を制作する。 ○平成27年度からは、出演者を公募し、総合文化センター大ホールで公演（12月20日）する。					
	位置づけ	関連計画		刈谷市文化振興基本計画					
		根拠法令		文化芸術振興基本法、劇場・音楽堂等の活性化に関する法律					
		対象者	対象者を限定せず	事業期間	平成26年度～平成27年度				
		実施方法	■直営 □委託 □指定管理 □補助・助成 □その他						
	BDO 事業実績 計画	24年度実績		25年度実績		26年度実績		27年度計画	
		—		—		・創作作業に向けたワークショップの実施（参加者数10月15日 19名、11月9日 13名、11月22日 13名） ・創作作業（脚本作成・作曲）		・市民から公募した出演者の練習実施 ・プレ公演や出張公演などの実施 ・公演実施	
成果		一般市民も参加したワークショップを3回実施し、各自が持ち寄った情報を紹介しあう中で、参加者が本市の魅力についての理解を深め、よりよい脚本や曲をつくることができた。							
課題		「地域の魅力再発見」をテーマにしてワークショップを実施したが、テーマが広いため、メンバーの意見集約に時間がかった。また、より話題となるようマスコミなどに働きかけるなど、市民の中で話題となるような仕掛け作りが不十分であった。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				24年度	25年度	26年度	27年度	29年度	
活動指標		ワークショップ、演劇参加人数（人）			—	—	35	40	—
成果指標		刈谷に誇りや愛着を感じていると思う市民の割合（%）			76.2	—	75.8	77.0	78.2
他市との比較検証		・愛知県知立市…まちおこし演劇『愛・かきつばた姫』（2014年 3回公演）入場者数 591人、公募市民参加者 11人 ・愛知県豊橋市…市民と創るスケッチ群像劇『話しグルマ』（2015年 構成・演出 近藤芳正 2回公演）入場者数860人（満席）、公募市民参加者 34人							
C 事業コスト		単位：千円		24年度（決算）	25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（予算）	26年度事業費内訳	
	事業費 ①		0	0	1,200	3,390	合計	1,200,000 円	
	財源	特定財源	0	0	500	1,100	委託料	1,200,000 円	
		一般財源	0	0	700	2,290			
	職員人件費 ②		0	0	2,534	2,246			
	総事業費（①+②）		0	0	3,734	5,636			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		26年度特定財源名称			
26年度までの累積事業費		0		地域創造助成金					
28年度以降の事業費見込		0							

会計名			刈谷からの文化発信創作事業	担当部	生涯学習部
一般会計				担当課	文化振興課
款	項	目		担当係	文化振興係
10	5	1			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 	高い	地域に密着した題材や人材を用い、市民劇を開催することで、関係した人たちが地域に誇りを持つことが出来る。	
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 	高い	事業の運営を総合文化センター市民スタッフ「文化工房かりや」と協力して行うことで、より市民感覚を取り入れることができた。	
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 	普通	地域を題材とする市民の創作活動を支援することで、幅広く郷土の愛着や住みつけたいという気持ちの醸成を図ることができ、市が主体となって実施する必要がある。	
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 	普通	総合計画「創作・発表の機会づくり」の「市民の創作活動を支援すること」に合致している。	
今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
総合文化センター市民スタッフ「文化工房かりや」結成以来、年に1回、出演者の一般公募、運営の管理を自主的に行うことをテーマに公演を行っている。今後も今公演で学んだ知識・経験を今後の公演や活動に活かし、地域の文化発信に寄与していくことを目指す。					

会計名			文化財保存整備事業				担当部	生涯学習部		
一般会計							担当課	文化振興課		
款	項	目					担当係	文化財係		
10	5	2								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	歴史・文化財							
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用							
	目的	文化財の保護と整備を行い、史跡等を適切に管理する。また、文化財を啓発普及するため、「歴史の小径」の活用を図り、市内外へ向けて広報することで、文化財に対する興味関心を高める。			主たる内容	○史跡の維持管理及び樹木剪定等の管理委託 ○「歴史の小径」「椎の木屋敷跡」他のパンフレット等の改訂・印刷				
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画							
			根拠法令	文化財保護法						
		対象者	対象者を限定せず			事業期間	～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 実施	24年度実績		25年度実績		26年度実績		27年度計画		
		<ul style="list-style-type: none"> 椎の木屋敷跡他史跡管理委託実施 歴史の小径増刷 文化財保護審議会委員県外研修（松江市・出雲市） 歴史資料の購入 		<ul style="list-style-type: none"> 椎の木屋敷跡他史跡管理委託実施 椎の木屋敷跡門の修繕 歴史の小径増刷 文化財保護審議会委員県外研修（仙台市・東京都北区） 		<ul style="list-style-type: none"> 椎の木屋敷跡他史跡管理委託実施 歴史の小径増刷 文化財保護審議会委員県外研修（大和郡山市・堺市・津市） 歴史資料等の購入 歴史啓発ポスターの作成 		<ul style="list-style-type: none"> 椎の木屋敷跡他史跡管理委託実施 歴史の小径増刷 文化財保護審議会委員県外研修（富岡市・甘楽町・桐生市） 歴史資料等の購入 全国史跡整備市町村協議会参加 		
成果		椎の木屋敷跡などの史跡の維持管理委託及び高木剪定等を実施し、良好な状態に保つことができた。								
課題		文化財の啓発と周知を図るため、「歴史の小径」等パンフレットを更に活用するとともに、ガイドボランティアとの連携を活性化させていく必要がある。								
指標名称（単位）					実績値		目標値			
					24年度	25年度	26年度	27年度	29年度	
活動指標		草刈・清掃等史跡管理回数（回）				12	12	12	12	12
成果指標		刈谷の歴史に興味を持っている市民の割合（％）				37.8	—	37.9	41.0	43.0
他市との比較検証		西尾市 草刈・清掃等史跡管理回数（6回程度／年）								
C 事業コスト		単位：千円		24年度（決算）	25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（予算）	26年度事業費内訳		
	事業費 ①		4,041	6,745	5,505	6,936	合計	5,504,527 円		
	財源	特定財源	7	7	7	17	旅費	107,820 円		
		一般財源	4,034	6,738	5,498	6,919	需用費	1,546,399 円		
	職員人件費 ②		467	1,613	704	749	役務費	23,383 円		
	総事業費（①+②）		4,508	8,358	6,209	7,685	委託料	3,277,368 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		26年度特定財源名称				
26年度までの累積事業費		0		行政財産目的外使用料						
28年度以降の事業費見込		0								

会計名			文化財保存整備事業	担当部	生涯学習部
一般会計				担当課	文化振興課
款	項	目		担当係	文化財係
10	5	2			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など 		高い	文化財を保護保存し後世へ伝えていくこの事業は、文化財保護法に規定されている法的業務である。文化財の保存には市民への啓発が必要不可欠である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など 		普通	史跡周辺の植栽管理のため、造園業者へ委託する。各種パンフレットは、印刷製本費のコスト削減を目指しホームページ上から閲覧・印刷できるようにしている。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など 		高い	文化財の適切な保護や保存には、専門的な知識を持つ学芸員や文化財保護審議会委員などの経験や知識が必要になる。文化財の散逸や劣化を防ぐため、一括管理できる市が主体となって行うのが最も望ましく妥当である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など 		普通	「歴史の小径」を活用し、文化財の啓発普及を図ることで、成果指標である「刈谷の歴史に興味を持っている市民の割合」を増加させていくことができる。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
文化財は、現在適切に管理しており、現状維持を目指す。文化財の啓発は、指標である「刈谷の歴史に興味を持っている市民の割合」が目標に達していないため、「歴史の小径」等のパンフレットの活用やガイドボランティアとの協力や連携を一層強化するなど改善を図る。					

会計名			国指定文化財保護増殖事業				担当部	生涯学習部	
一般会計							担当課	文化振興課	
款	項	目					担当係	文化財係	
10	5	2							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	歴史・文化財						
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用						
	目的	国指定天然記念物である小堤西池カキツバタ群落の保護増殖を図るため、調査を含めた各種保護対策を実施し、植生を適切な状態に保つ。	主たる内容	○保存対策調査委員会において植生調査・保護対策を行う。 ○調査委員会の指導に基づき、小堤西池の水質水位の継続した調査を行う。 ○カキツバタ保護増殖のために池や東側丘陵地の除草や清掃等の業務を委託する。 ○カキツバタ開花期における、駐車場案内等の警備や案内の業務を委託する。					
	位置づけ	関連計画	小堤西池カキツバタ群落保存管理計画						
		根拠法令	文化財保護法						
	対象者	対象者を限定せず			事業期間	～			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input checked="" type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 実績	24年度実績		25年度実績		26年度実績		27年度計画	
		<ul style="list-style-type: none"> 保存対策調査委員会開催 2回 水質調査 月1回 水位調査 月1回程度 除草、清掃作業 6日間 ナラ枯れ被害木処理 被害木 19本 既存看板修復 3件 新規看板設置 1件 		<ul style="list-style-type: none"> 保存対策調査委員会開催 2回 水質調査 月1回 水位調査 月1回程度 除草、清掃作業 6日間 ナラ枯れ被害木処理 被害木 22本 		<ul style="list-style-type: none"> 保存対策調査委員会開催 2回 水質調査 月1回 水位調査 月1回程度 除草、清掃作業 6日間 ナラ枯れ被害木処理 被害木伐採 26本 被害木ラップ巻き 16本 		<ul style="list-style-type: none"> 保存対策調査委員会開催 2回 水質調査 月1回 水位調査 月1回程度 除草、清掃作業 6日間 ナラ枯れ被害木等処理 被害木 15本 	
成果		・9月の除草作業は、ボランティアの参加を得て池内除草及び東側丘陵地の竹木伐採を行った。 ・伐採竹木約8トンの焼却処理を行った。 ・カキツバタ開花期には、以前に比べ開花エリアに広がりが出て、花の数も増えてきたと来場者より評価を得た。 ・小堤西池の水位について、文化庁及び保存対策調査委員会から意見を聞き、管理方法の適正化を図った。							
課題		池の水源となる東側丘陵地に、その地下水を吸い上げてしまう竹が増殖しており、その速さが伐採処理を上回っているため、地下水の確保、水源の管理が課題となっている。 池及び東側丘陵地において外来種（動物・植物両方）が増加しているが、有効な対策が立てられていない。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			24年度	25年度	26年度	27年度	29年度		
成果指標		見学者数（人）		7,577	7,390	14,478	7,600	7,800	
活動指標		ボランティア参加数（人）		194	149	199	200	200	
他市との比較検証		知立市「史跡八橋かきつばたまつり」見学者（平成26年 17万人程度） 保存会ボランティア参加数（平成26年 20人） 豊橋市「葦毛湿原」保存会ボランティア参加数（平成26年 延べ500人）							
C 事業コスト		単位：千円	24年度（決算）	25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（予算）	26年度事業費内訳		
	事業費 ①	7,554	6,006	6,825	6,992	合計	6,825,033 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費	90,000 円	
		一般財源	7,554	6,006	6,825	6,992	需用費	322,208 円	
	職員人件費 ②	1,507	1,964	1,971	2,395	委託料	6,412,825 円		
	総事業費（①+②）	9,061	7,970	8,796	9,387				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）	0		26年度特定財源名称				
26年度までの累積事業費		0							
28年度以降の事業費見込		0							

会計名			国指定文化財保護増殖事業	担当部	生涯学習部
一般会計				担当課	文化振興課
款	項	目		担当係	文化財係
10	5	2			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 	高い	文化財保護法において、国指定天然記念物の保護は法的業務である。 また、毎年5月の開花時期には多くの鑑賞者が訪れることから市民ニーズも高い。	
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 	普通	地元有志による守る会に委託する体制を取っており、直営で実施するよりもコストが節減でき、継続的かつ効果的な保護活動が可能である。市民協働の点からも手段は最適である。	
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 	高い	国指定の文化財であるので、国、県との調整が必要であるとともに、調査委員会、守る会との連携も必要であるため、市が主体となって実施すべき事業である。また総合計画でも、カキツバタ群落の保存を掲げており、本事業の実施は妥当である。	
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 	高い	「小堤西池のカキツバタを守る会」等の市民が保護活動に主体的に関わることで、環境保護の意識向上に繋がっている。その成果として、カキツバタの花の数も増加傾向にあり、見学者からも好評を得ている。	
	今後の方向性		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
保存対策調査委員会による調査・研究の成果をカキツバタ群落の保護施策に反映するとともに、地域住民によって組織される守る会及びボランティアと一体となって保護事業を継続する。また、より多くの人に国指定天然記念物を見学していただくとともに、環境保護活動の意識向上が図れるよう、豊富な自然環境が維持されていることの啓発を今後も推進する。また、「小堤西池カキツバタ群落保存管理計画」に基づき、取り決めた各関係機関における体制・役割分担を守り、連携を強化していくことで、群落の保護保全に努めるとともに東側丘陵地の回復を図る。池の水源確保や外来種の増加に対しては、保存対策調査委員会や守る会と対策を協議していく。					

会計名			依佐美送信所記念館ガイド事業				担当部	生涯学習部	
一般会計							担当課	文化振興課	
款	項	目					担当係	文化財係	
10	5	2							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	歴史・文化財						
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用						
	目的	市内外の来館者に依佐美送信所の歴史と展示機器の機能や構造を学ぶ機会を提供し、無線通信への親しみと理解を深め、貴重な産業遺産としての価値を後世に伝える。			主たる内容	依佐美送信所記念館における機器説明等、館内ガイド業務を実施する。			
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画						
		根拠法令							
		対象者	対象者を限定せず		事業期間	平成20年度～			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画 実施 V	24年度実績		25年度実績		26年度実績		27年度計画	
		・ガイドボランティア委託 ・入館者数 27,798人 ・ボランティアガイド 126件 3,062人		・ガイドボランティア委託 ・入館者数 30,849人 ・ボランティアガイド 130件 3,300人		・ガイドボランティア委託 ・入館者数 32,255人 ・ボランティアガイド 114件 3,000人		・ガイドボランティア委託 ・入館者数 約30,000人 ・ボランティアガイド 約130件 3,000人	
成果		記念館には無線通信に詳しい方もそうでない方も来館されるが、ガイドがあることでそのどちらにも対応することができ、「分かりやすいガイドだった」との評価を得た。 また県外から多くの来館者を集め、刈谷の魅力のアピールに繋げることができた。							
課題		他市町村からのガイド依頼は一定数あるが、市内の方（特に北部・中部の方）を対象としたガイド数が少なかった。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				24年度	25年度	26年度	27年度	29年度	
活動指標		ボランティア数（人）			45	46	43	45	47
成果指標		ガイド参加数（人）			3,062	3,300	3,000	3,000	3,200
他市との比較検証		依佐美送信所記念館と同じく産業をテーマとしている豊田市産業とくらし発見館においては、ボランティアによるガイドは実施していない。							
C 事業コスト		単位：千円		24年度（決算）	25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（予算）	26年度事業費内訳	
	事業費 ①		100	464	170	250	合計	169,930 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	69,930 円	
		一般財源	100	464	170	250	委託料	100,000 円	
	職員人件費 ②		707	351	352	225			
	総事業費（①+②）		807	815	522	475			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		26年度特定財源名称			
		26年度までの累積事業費		0					
28年度以降の事業費見込		0							

会計名			依佐美送信所記念館ガイド事業	担当部	生涯学習部
一般会計				担当課	文化振興課
款	項	目		担当係	文化財係
10	5	2			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		普通	「依佐美の鉄塔」が建っていた当時を記憶している市民も多く、送信所でどのようなことが行われていたのかを説明することで、刈谷の歴史に対する理解を深める。ガイドボランティアと協働することで、地域からも愛される記念館運営を行う。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		高い	ガイドボランティアの会に委託することで、最小コストによるガイド事業を実施している。ガイド事業の計画や反省もガイドボランティアの会自身が行っており、業者委託や直営よりも効率的な運営が行われている。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	依佐美送信所記念館の施設管理は、指定管理者によって行われているが、ガイド事業は専門性が求められることから、指定管理者による運営は難しい。自主的に活動しているボランティアに対し、ガイドを委託する体制は有効である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	依佐美送信所記念館は、開館以来多くの賞を受賞している。そのため市外・県外からの来館者も多く、機械ではなく人による案内があることで刈谷の貴重な文化資源のPRが効果的に行われ、刈谷市の知名度向上に繋がっている。
	今後の方向性		<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
	現在は、依佐美送信所に詳しい方がボランティアとして在籍しているため、当時の記憶がガイドに活かされているが、解体から歳月が経っていくにつれ、記憶が風化していくことから、資料化して伝えていくなどの取組が必要である。また、ボランティアの高齢化が進んでおり、ボランティアを増やす取組も必要である。				

会計名 一般会計			刈谷偉人伝作成事業				担当部	生涯学習部	
款	項	目					担当課	文化振興課	
10	5	2					担当係	文化財係	
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系		分野	教育文化					
			基本施策	歴史・文化財					
			施策の内容	歴史の啓発					
	目的		刈谷市にゆかりのある人物を広く市内外に紹介し、顕彰する。計画中である歴史博物館での活用や、小中学生の歴史教材としてなど様々な分野で、刈谷市の歴史文化や魅力をPRすることができる啓発促進手段の一つとする。		主たる内容		○平成26年度は、「刈谷偉人伝」を紙芝居として作成し、市内幼稚園・保育園・小学校等に配付し活用を図る。 ○平成27年度からは、刈谷の偉人を紹介する短編物語「刈谷偉人小伝」を年度ごとに2作品映像化する。		
	位置づけ	関連計画	刈谷市歴史博物館基本計画、刈谷市文化振興基本計画						
		根拠法令							
		対象者	対象者を限定せず		事業期間	平成20年度～平成31年度			
		実施方法	□直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他						
	BDO 事業実績 計画V	24年度実績		25年度実績		26年度実績		27年度計画	
		・第4作目『森銚三と森三郎兄弟』作成 ・『フェライトの父加藤与五郎』の頒布開始 ・『維新の魁天誅組』の増版		・第5作目『刈谷に夢をかけた豊田佐吉と喜一郎』作成 ・『森銚三と森三郎兄弟』の頒布開始 ・『初代刈谷藩主水野勝成物語』の増版		・第6作目『徳川家康の生母・於大』作成 ・『刈谷に夢をかけた豊田佐吉と喜一郎』の頒布開始 ・『フェライトの父加藤与五郎』と『刈谷に夢をかけた豊田佐吉と喜一郎』の増版 ・『初代刈谷藩主水野勝成物語』の紙芝居作成		・『徳川家康の生母・於大』の頒布開始 ・『森銚三と森三郎兄弟』の増版 ・偉人小伝『松平定政』『大中肇』の作成 ・紙芝居1作品の作成	
成果		・市内小中高等学校等に配付した結果、学校で視聴した生徒が親子で購入に訪れることがあった。 ・総合式典で広く紹介するとともに、庁舎や総合文化センターなど集客のある施設やYouTube、市内外のイベントでダイジェスト版を放映するなどPRしたことで、市内外からの問い合わせや頒布数が増加した。 ・刈谷駅前観光案内所やトヨタ生協での販売をしたことで頒布数が増加した。							
課題		『刈谷に夢をかけた豊田佐吉と喜一郎』の頒布においては、制作当初の予想を上回っての問い合わせがあったため、年度内に2度の増版をすることとなった。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			24年度	25年度	26年度	27年度	29年度		
成果指標		頒布部数（部）		188	278	512	200	100	
成果指標		刈谷のPRのため、DVDを会議等の場での活用・広報回数（回）		20	25	28	25	10	
他市との比較検証		郷土の偉人・文化人等を紹介するアニメDVDを作成している近隣市として、その事業実施方法・レベル・作成費用等を検証し、参考とした。 検証先・・・豊田市視聴覚ライブラリー『とよたの人物記』							
C 事業コスト		単位：千円		24年度（決算）	25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（予算）	26年度事業費内訳	
	事業費①		6,704	6,544	7,760	4,867	合計	7,760,000円	
	財源	特定財源	94	219	385	200	委託料	7,760,000円	
		一般財源	6,610	6,325	7,375	4,667			
	職員人件費②		1,768	2,104	2,041	1,946			
	総事業費（①+②）		8,472	8,648	9,801	6,813			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		26年度特定財源名称			
26年度までの累積事業費		0		冊子等頒布収入					
28年度以降の事業費見込		0							

会計名			刈谷偉人伝作成事業	担当部	生涯学習部
一般会計				担当課	文化振興課
款	項	目		担当係	文化財係
10	5	2			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 	普通	「歴史の小径」などの配布数を見ても、郷土の歴史に対する関心は高く、郷土の偉人を顕彰する事業はニーズがある。 小中学校に配付し教育的利用を促すことで、郷土学習にも役立っている。	
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 	普通	事業遂行の効率化のため、25年度中に26年度作品のシナリオを作成するという2ヶ年計画で事業を進めた結果、26年度は映像内容と史実の整合性を取るための確認調整等に時間を十分にかけることができた。	
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 	普通	教育委員会で著作権を持ち、小中学校に積極的な活用を促すことで、教育的効果が期待できる。 郷土の歴史に対する認知度の向上のため、図書館等の施設でのDVDの公開・貸出や市の行事等に活用することで普及を図ることができる。	
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 	高い	平成26年度は、市の総合式典や技能五輪会場、刈谷の魅力発信事業関連の各種イベント等で上映し、幅広い世代の市民の目に触れる機会を創出した。郷土の偉人を通して歴史文化を啓発することで、郷土愛の育成に寄与することができた。	
	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止			
	刈谷偉人伝映像は第6作の頒布開始に伴い、全巻そろいでの販売を行って郷土の歴史・文化の啓発促進を図るほか、平成30年度開館予定の歴史博物館のデジタルミュージアムでの活用など、博物館での利用を考えていく。 刈谷偉人伝に変わり、新規事業として全6作品を作成する刈谷偉人小伝では、平成27年度に「松平定政」「大中肇」の2作品を作成し、刈谷偉人伝同様に歴史博物館での利用を考えていく。 刈谷偉人伝DVDのうち1作を紙芝居で作成し、市内幼稚園・保育園、小学校等に配付し、幼少期からの郷土愛の育成を図る。				

会計名			歴史博物館建設事業				担当部	生涯学習部	
一般会計							担当課	文化振興課	
款	項	目					担当係	文化財係	
10	5	2							
PLAN概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	歴史・文化財						
		施策の内容	歴史博物館の整備						
	目的	歴史、考古、民俗などに関する資料を収集し、貴重な文化的遺産の散逸を防ぎ、後世に残すとともに広く一般公開し、歴史研究の一助とする。 また、刈谷の祭りを紹介しながら実際に体験できる施設とし、親しみやすさと愛着、地域の魅力発信を兼ね備えた施設とすることを旨とする。				主たる内容	○平成22年度：基本計画 ○平成24年度：建設予定地地質調査 ○平成26年度：建物基本設計、展示基本設計 ○平成27年度：建物実施設計、展示実施設計		
	位置づけ	関連計画	文化振興基本計画、歴史博物館基本計画						
		根拠法令	博物館法、公文書館法、文化財保護法						
		対象者	対象者を限定せず			事業期間	平成22年度～平成30年度		
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B事業実績 D実績 O実績 V	24年度実績		25年度実績		26年度実績		27年度計画	
		・刈谷市歴史博物館建設計画検討委員会の開催（1回） ※「一般事務費事業」にて実施 ・ポーリング調査及び地盤解析の実施		・刈谷市歴史博物館建設計画検討委員会の開催（1回） ※「一般事務費事業」にて実施		・プロポーザルによる建物基本設計業者の選定 ・建物基本設計の作成 ・展示基本設計の作成 ・刈谷市歴史博物館建設委員会の開催（2回） ・文化庁へのヒアリング（3回）		・建物基本設計の作成（継続） ・建物実施設計の作成 ・展示実施設計の作成 ・予定地ポーリング調査の実施 ・刈谷市歴史博物館建設委員会の開催（2回） ・文化庁へのヒアリング（3回）	
成果		・建物基本設計業者を、プロポーザル方式により選定した。 ・展示資料や導線などを検討し、展示基本設計を作成した。 ・歴史博物館建設委員会を2回開催したほか、有識者・関係団体へのヒアリングを適宜実施し、基本設計の参考にした。 ・重要文化財公開承認施設を目指し、文化庁へのヒアリングを3回実施した。							
課題		・建物基本設計について、文化庁へのヒアリング結果を反映させるため、完成が27年度に繰越となった。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				24年度	25年度	26年度	27年度	29年度	
活動指標	有識者や関係団体からなる委員会の開催数（回）			1	1	2	2	0	
活動指標	文化庁へのヒアリングの回数（回）			0	0	3	3	0	
他市との比較検証	・県内の文化財公開承認施設 7館 ・県内の登録博物館数 33館								
C事業コスト	単位：千円		24年度（決算）	25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（予算）	26年度事業費内訳		
	事業費①		3,870	83	32,027	134,148	合計	32,027,310円	
	財源	特定財源	0	0	0	13,300	報償費	249,280円	
		一般財源	3,870	83	32,027	120,848	旅費	144,960円	
	職員人件費②		849	701	5,068	5,390	委託料	31,633,070円	
	総事業費（①+②）		4,719	784	37,095	139,538			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		3,949,897		26年度特定財源名称			
26年度までの累積事業費		41,471							
28年度以降の事業費見込		3,774,278							

会計名			歴史博物館建設事業	担当部	生涯学習部
一般会計				担当課	文化振興課
款	項	目		担当係	文化財係
10	5	2			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	現在の郷土資料館は建物自体が登録文化財であるから、文化財の保存・展示施設としては規模・設備的に不十分であり建設の必要がある。公文書館・展示・埋蔵文化財センター・祭り会館の各機能を一体にした施設とすることで、資料保存と市内外への公開を両立させることができる。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	建物基本設計は、プロポーザル方式で設計業者を選定することで、総合的な評価で歴史博物館建設に最適な業者を選定することができた。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	市民の財産である文化財を多数保存する施設であることから、市が主体となるべき事業である。また市が主体となることで、設計にも市民や学校の意見を取り入れることができる。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	市民が気軽に立ち寄れる歴史博物館を設計することで、郷土の歴史文化への興味を喚起することができる。また、重要文化財の公開承認施設を目指すことで、貴重な重要文化財を見学出来る機会を増やし、市民の歴史に対する関心に応えることができる。
	今後の方向性			<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
<p>歴史博物館建設に向けた建物実施設計及び展示実施設計を行う。また、重要文化財の公開承認施設を目指すため、引き続き文化庁等へのヒアリングを行い、設計に反映させる。</p>					

会計名			文化振興事業				担当部	生涯学習部	
一般会計							担当課	文化振興課	
款	項	目					担当係	文化振興係	
10	5	13							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	文化・芸術						
		施策の内容	鑑賞・体験の機会づくり						
	目的	市民に舞台芸術と触れ合う機会を提供し、文化芸術意識の向上を図る。		主たる内容	文化芸術創造の拠点である総合文化センターで、指定管理者が実施する各種の文化普及鑑賞事業を支援する。 また、発表の場としての機能を提供することで、市民の芸術文化活動を支援する。				
	関連計画	刈谷市文化振興基本計画							
	根拠法令	劇場、音楽堂等の活性化に関する法律							
	対象者	対象者を限定せず		事業期間	平成23年度～				
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
B 事業実績	24年度実績		25年度実績		26年度実績		27年度計画		
	22事業(有料17事業・無料5事業)を実施、入場者延18,498人		28事業(有料20事業・無料8事業)を実施、入場者延25,695人		29事業(有料20事業・無料9事業)を実施、入場者延38,539人		26事業(有料18事業・無料8事業)を実施予定		
	・大ホール利用 545回 177,076人 ・小ホール利用 490回 56,087人 ・リハーサル室1利用 289回 14,214人 ・リハーサル室2利用 518回 12,174人		・大ホール利用 565回 198,389人 ・小ホール利用 436回 47,624人 ・リハーサル室1利用 279回 10,864人 ・リハーサル室2利用 548回 10,580人		・大ホール利用 586回 198,389人 ・小ホール利用 479回 42,008人 ・リハーサル室1利用 287回 10,271人 ・リハーサル室2利用 509回 10,723人				
	成果	大ホールでの自主事業として、「アンジェラ・アキ コンサートツアー」(5月20日)、「ブロードウェイミュージカル シカゴ」(12月4日～7日)などを実施し、多くの市民に鑑賞してもらうことを通じて舞台芸術の普及、振興に寄与できた。またアウトリーチ事業を11箇所で開催し、市民が気軽に芸術鑑賞できる機会を提供できた。							
	課題	29事業の内27事業はほぼ満足出来る入場者数だったが、2事業は告知、販売期間を十分確保する事が出来ず、目標の入場者数を達成できなかった。 事業によっては、他市、他団体も同種の事業を実施していることにより、本市の独自性が薄れ、実施内容について検討する必要が生じている。							
	指標名称(単位)			実績値			目標値		
				24年度	25年度	26年度	27年度	29年度	
	成果指標	文化振興事業入場者数(人)		18,498	25,695	38,539	34,000	20,000	
成果指標	大ホール稼働率(%)		70.0	73.3	76.1	72.0	74.0		
他市との比較検証	文化施設等の管理・運営・企画を民間の指定管理者に任せている自治体、施設名、文化事業数 ○一宮市：一宮市民会館 22事業 ○広島県三原市：三原市芸術文化センター 20事業								
C 事業コスト	単位：千円		24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(予算)	26年度事業費内訳		
	事業費①		24,879	25,680	27,165	31,208	合計	27,165,000円	
	財源	特定財源	0	188	0	0	委託料	27,165,000円	
		一般財源	24,879	25,492	27,165	31,208			
	職員人件費②		7,428	9,468	7,743	7,486			
	総事業費(①+②)		32,307	35,148	34,908	38,694			
	建設事業	全体事業費(単位：千円)		0		26年度特定財源名称			
		26年度までの累積事業費		0					
28年度以降の事業費見込		0							

会計名			文化振興事業	担当部	生涯学習部
一般会計				担当課	文化振興課
款	項	目		担当係	文化振興係
10	5	13			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	身近な場所で各種の文化普及・鑑賞事業を開催することで、市民の舞台芸術作品の鑑賞機会に対するニーズを実現している。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		高い	指定管理者による運営を行うことで、地方自治体の文化施設では招聘することが難しい事業を開催することに成功している。 大規模公演は、共同主催の形で実施し、リスクを抑えながら質の高い舞台公演を開催している。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	文化芸術創造の拠点となることで、「誇りと愛着もてるまちづくり」施策を実現している。 普及活動としての市民スタッフ育成事業や市民の発表支援を通じて、「市民が活動しやすい施設・環境づくり」施策を実施している。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	著名なアーティストや、芸術性の高い公演を実施することにより、身近に質の高い舞台芸術を鑑賞する機会を提供することで市民サービスの向上を図っている。 また、センターの知名度向上により、刈谷市の認知度アップに貢献している。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
平成27年度事業は、市制施行65周年記念として著名な公演を誘致し、さらにホール及び市の知名度向上を図る。 また、指定管理者からの新たな提案による事業を展開し、「音楽のあるまち 刈谷」としてまちづくりの推進を図る。					

会計名			市史資料整理活用事業				担当部	生涯学習部		
一般会計							担当課	文化振興課		
款	項	目					担当係	文化財係		
10	5	1								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	歴史・文化財							
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用							
	目的	刈谷市の歴史に関わる資料の調査・整理を行い、歴史資料の保存と活用を図る。また、資料公開のための準備を進めていく。	主たる内容	○市史だよりの発行。 ○市内外における資料の発掘・調査を行い、刈谷に関する関係資料を収集し、資料目録を作成する。 ○資料のマイクロ化を行う。						
	関連計画	刈谷市歴史博物館基本計画								
	根拠法令	文化財保護法、公文書館法、博物館法								
	対象者	対象者を限定せず		事業期間	平成7年度 ~					
	実施方法	■直営 □委託 □指定管理 □補助・助成 □その他								
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	24年度実績		25年度実績		26年度実績		27年度計画		
		・資料調査の実施 11回 ・資料整理の実施 ・新聞データの整理 ・市史だよりの発行		・資料調査の実施 5回 ・資料整理の実施 ・新聞データの整理		・資料調査の実施 5回 ・資料整理の実施 ・新聞データの整理 ・市史だよりの発行		・資料調査の実施 5回 ・資料整理の実施 ・新聞データの整理 ・市史だよりの発行		
成果		・資料調査によって、新しく発見した資料を収集し、整理できた。 ・整理済資料から歴史研究を行い、出前講座等で活用し、市民に刈谷の歴史を啓発できた。 ・新聞記事により、刈谷関係および文化財関係記事のデータベース化を行った。								
課題		・資料の整理に時間をとられ、資料の分析が十分できなかった。								
指標名称（単位）			実績値			目標値				
			24年度	25年度	26年度	27年度	29年度			
活動指標		調査回数（回）		11	5	5	5	5		
活動指標		調査・整理資料点数（点）		300	300	500	500	500		
他市との比較検証		・名古屋市では、資料の整理は終了し、市史資料編を刊行している。 ・安城市では、市史の刊行は完結しており、随時調査を実施している。								
C 事業コスト V		単位：千円		24年度（決算）	25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（予算）	26年度事業費内訳		
	事業費 ①		4,879	5,448	5,205	5,529	合計	5,205,423 円		
	財源	特定財源	39	263	206	187	賃金	1,704,020 円		
		一般財源	4,840	5,185	4,999	5,342	旅費	91,220 円		
	職員人件費 ②		1,415	1,052	1,056	1,123	需用費	2,930,702 円		
	総事業費（①+②）		6,294	6,500	6,261	6,652	役務費	56,006 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		26年度特定財源名称				
26年度までの累積事業費		0		冊子等頒布収入						
28年度以降の事業費見込		0								

会計名			音楽振興活動補助事業				担当部	生涯学習部	
一般会計							担当課	文化振興課	
款	項	目					担当係	文化振興係	
10	5	1							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	文化・芸術						
		施策の内容	活動の支援体制の充実						
	目的	刈谷市文化振興基本計画では、「音楽のあるまちづくり」を掲げており、この施策実現の一翼を担う刈谷音楽協会へ支援することにより、刈谷の音楽文化の更なる発展を図る。				主たる内容	音楽協会の行う演奏会、演奏指導（クリニック）などの事業に支援を行う。		
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画						
		根拠法令							
		対象者	刈谷音楽協会			事業期間	平成18年度～		
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画	24年度実績		25年度実績		26年度実績		27年度計画	
		・6月24日 第8回刈谷音楽祭 刈谷市民管弦楽団 第27回定期演奏会 ・12月 第7回刈谷音楽協会演奏会「わくわくクリスマスコンサート」		・7月7日 第9回刈谷音楽祭～日本のメロディ～ ・10月27日 第6回刈谷音楽協会演奏会の日		・6月22日 第10回刈谷音楽祭 ・12月6日 第8回音楽協会演奏会		・第11回刈谷音楽祭 ・第9回音楽協会演奏会	
成果		音楽祭・演奏会という2本の柱を軸に「音楽」のあるまち刈谷をPRできた。							
課題		演奏会の開催による文化振興基本計画への貢献は認められるが、入場者数の増加にはつながらなかった。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				24年度	25年度	26年度	27年度	29年度	
活動指標		協会会員数（人）			67	70	74	74	75
成果指標		刈谷音楽祭入場者数（人）			824	695	568	600	700
他市との比較検証		現在、近隣市において、演奏者の協会があるのは岡崎市・安城市のみである。岡崎市の団体は文化協会に所属しており、市から文化協会への活動の支援をしている。安城市では活動に対する補助はしていない。							
C 事業コスト		単位：千円		24年度（決算）	25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（予算）	26年度事業費内訳	
	事業費 ①		800	703	716	800	合計 715,630 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金 715,630 円		
		一般財源	800	703	716	800			
	職員人件費 ②		424	1,403	634	674			
	総事業費（①+②）		1,224	2,106	1,350	1,474			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		26年度特定財源名称			
		26年度までの累積事業費		0					
28年度以降の事業費見込		0							

会計名			民俗芸能啓発事業				担当部	生涯学習部	
一般会計							担当課	文化振興課	
款	項	目					担当係	文化振興係	
10	5	1							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	文化・芸術						
		施策の内容	創作・発表の機会づくり						
	目的	刈谷市固有の無形民俗文化財の保存・伝承を図ることにより、先人がこれまで培ってきた歴史や文化財を次代に継承する。		主たる内容	指定無形民俗文化財の継承団体が県民俗芸能大会等に出演する経費を補助する。				
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画						
		根拠法令							
		対象者	対象者を限定せず		事業期間	平成22年度～			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画	24年度実績		25年度実績		26年度実績		27年度計画	
		・9月17日（寺横町奴会） 催事名：第6回全国奴まつり 開催地：山形県河北町 ・1月27日（刈谷万燈保存会） 催事名：第1回あいちの伝統文化まつり 開催地：愛知県刈谷市		・各団体に披露や啓発の募集の情報提供 ・申請の事務補助		・11月8日（野田雨乞笠おどり保存会） 催事名：ESDユネスコ世界会議併催イベント 開催地：愛知県名古屋市 ・3月1日（野田雨乞笠おどり保存会） 催事名：愛知県民俗芸能大会（蒲郡市大会） 開催地：愛知県蒲郡市		・各団体に披露や啓発の募集の情報提供 ・申請の事務補助 ・11月8日（野田雨乞笠おどり保存会） 催事名：第30回国民文化祭・かごしま2015 開催地：鹿児島県始良市	
成果		平成26年4月に補助金交付要領を改正し、より幅広く経費の補助を行うことにより、民俗芸能を披露する機会を増やすことができた。							
課題		無形民俗文化財を披露する機会は限られているため、今後いかに広く啓発していくかが課題である。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			24年度	25年度	26年度	27年度	29年度		
活動指標		無形民俗文化財の出演団体数（団体）		2	0	2	1	1	
指標									
他市との比較検証		平成26年度愛知県民俗芸能大会（蒲郡市大会）には、蒲郡市、一宮市、安城市、刈谷市の4市が参加。							
C 事業コスト		単位：千円		24年度（決算）	25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（予算）	26年度事業費内訳	
	事業費①		631	0	300	1,942	合計	300,000円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金	300,000円	
		一般財源	631	0	300	1,942			
	職員人件費②		2,688	701	634	973			
	総事業費（①+②）		3,319	701	934	2,915			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		26年度特定財源名称			
		26年度までの累積事業費		0					
28年度以降の事業費見込		0							

会計名		ふるさと刈谷歴史学び事業				担当部	生涯学習部		
一般会計						担当課	文化振興課		
款	項					目	担当係	文化財係	
10	5					1			
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	歴史・文化財						
		施策の内容	歴史の啓発						
	目的	市民、特に若い世代に歴史や文化に触れる機会を提供し次世代へ貴重な文化の継承を図ることで、郷土の歴史・文化に対する興味関心や学習意欲を高める。	主たる内容	郷土の歴史を学び始める小学校高学年から中学生までを対象に、刈谷の歴史の学習ツアーを開催する。					
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画						
		根拠法令	文化財保護法						
	対象者	小学生	事業期間	平成26年度 ~ 平成26年度					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績	24年度実績		25年度実績		26年度実績		27年度計画	
		—		—		・小学生向け史跡めぐり「刈谷城内探検コース」を実施		—	
成果		小学生を対象とした史跡めぐり「刈谷城内探検コース」を実施し、若い世代に刈谷城に係る歴史を学んでもらうことができた。							
課題		・「刈谷城内探検コース」以外のコース設定を検討していく必要がある。 ・中学生コースの募集をしたが、応募がなく中止となった。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			24年度	25年度	26年度	27年度	29年度		
成果指標	子ども向け史跡めぐり実施回数（回）		—	—	1	1	1		
成果指標	刈谷の歴史に興味を持っている市民の割合（％）		37.8	—	37.9	41.0	43.0		
他市との比較検証	豊田市「親子史跡めぐり」（平成26年 1回）								
C 事業コスト	単位：千円		24年度（決算）	25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（予算）	26年度事業費内訳		
	事業費 ①		0	0	22	0	合計	22,139 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	17,884 円	
		一般財源	0	0	22	0	役務費	4,255 円	
	職員人件費 ②		0	0	352	0			
	総事業費（①+②）		0	0	374	0			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		26年度特定財源名称			
26年度までの累積事業費		0							
28年度以降の事業費見込		0							

会計名			発掘調査出土遺物整理事業				担当部	生涯学習部		
一般会計							担当課	文化振興課		
款	項	目					担当係	文化財係		
10	5	2								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	歴史・文化財							
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用							
	目的	住宅建設や宅地造成等に伴う緊急発掘調査や試掘調査により市内の遺跡から出土した埋蔵文化財を整理・保存し、市域の歴史解明の一助とする。	主たる内容	臨時職員により遺跡ごとに遺物の洗浄・注記・接合・復元・実測等の整理作業を行い、調査成果を広く市民に公開するための作業を行う。 また、年々増加する資料を効率よく収納するとともに収蔵台帳を整備し、専門家の資料調査のニーズに対応する。						
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画							
		根拠法令	文化財保護法							
	対象者	対象者を限定せず			事業期間	～				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	B 事業 実績	24年度実績		25年度実績		26年度実績		27年度計画		
		・中条遺跡出土遺物 1次整理（洗浄・注記） ・中条遺跡出土遺物（一部） 2次整理（拓本・実測） ・佐太屋敷南貝塚出土遺物 1次整理（洗浄・注記）		・半崎貝塚出土遺物 1次整理（洗浄・注記） ・中条遺跡出土遺物 1次整理（洗浄・注記） ・刈谷城跡出土遺物（一部） 2次整理（拓本・実測）		・紫雲寺東遺跡出土遺物 1次整理（洗浄・注記） ・刈谷城跡出土遺物 1次整理（洗浄・注記） 2次整理（拓本・実測）		・市内遺跡出土遺物 1次整理（洗浄・注記） 2次整理（拓本・実測）		
成果		緊急発掘調査を行った紫雲寺東遺跡をはじめ試掘・確認調査を行った市内各遺跡の出土遺物について、1次整理（洗浄・注記）まではすべて実施することができた。これにより、専門家の資料調査や市民の資料見学に対応するための準備ができた。とくに緊急発掘調査を行った紫雲寺東遺跡は図や写真を用いて調査成果の概要をまとめた資料を作成し、地権者等に配布して埋蔵文化財の保護を啓発出来た。								
課題		2次整理まで進めることのできた資料は刈谷城跡の瓦の一部に限られた。また、出土遺物だけでなく記録図面や写真の整理も並行して進め、成果概要としてまとめ保護啓発等に活用できるようにする必要がある。年々増加する出土遺物量に対して、作業場の収蔵スペースが不足している。また、調査成果を市民に公開する展示スペースの確保も必要である。								
O 実施	指標名称（単位）				実績値		目標値			
					24年度	25年度	26年度	27年度	29年度	
	活動指標	1次整理作業実施率（％）			100	100	100	100	100	
	活動指標	2次整理作業実施率（件）			1	1	1	1	2	
他市との比較検証	安城市においては埋蔵文化財センターにおいて基本的に1次整理までは年度内に完了している。また、主な出土品については2次整理まで実施し、翌年度にセンター内の展示コーナーで速報展を開催して発掘調査の成果を市民に公開している。									
C 事業 コスト	単位：千円	24年度（決算）	25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（予算）	26年度事業費内訳				
	事業費 ①	3,258	3,457	3,462	3,831	合計	3,461,747 円			
	財源	特定財源	18	3	76	47	賃金	3,189,480 円		
		一般財源	3,240	3,454	3,386	3,784	旅費	3,620 円		
	職員人件費 ②	707	701	1,408	674	需用費	79,647 円			
	総事業費（①+②）	3,965	4,158	4,870	4,505	使用料及び賃借料	189,000 円			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）	0		26年度特定財源名称					
26年度までの累積事業費		0		19 諸収入 02 施設賠償責任保険金収入 05 冊子等頒布収入						
28年度以降の事業費見込		0								

会計名			史跡めぐり開催事業				担当部	生涯学習部	
一般会計							担当課	文化振興課	
款	項	目					担当係	文化財係	
10	5	2							
PLAN概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	歴史・文化財						
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用						
	目的	市民が刈谷の文化財や歴史に触れ、学ぶことができる機会を提供するとともに、刈谷の歴史文化を案内するためのガイドボランティアを育成し、文化財の活用と歴史の啓発を図る。			主たる内容	○年3回、史跡めぐりの開催 ○郷土資料館における見学者案内 ○市内学校の総合的な学習に伴うガイドの派遣			
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画						
		根拠法令							
		対象者	対象者を限定せず		事業期間	平成15年度～			
		実施方法	□直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他						
	B事業 D実績 O計画 V実施	24年度実績		25年度実績		26年度実績		27年度計画	
		<ul style="list-style-type: none"> 史跡めぐり案内（年3回：高須、高津波・小山、築地・恩田コース） 小学4年生体験学習における案内、説明 一般からの「歴史の小径」散策ガイド依頼に対するボランティア派遣実施 郷土資料館案内補助 創立10周年記念行事開催 		<ul style="list-style-type: none"> 史跡めぐり案内（年4回：刈谷城、天誅組、小垣江、泉田コース） 小学4年生体験学習における案内、説明 一般からの「歴史の小径」散策ガイド依頼に対するボランティア派遣実施 「刈谷城築城480年記念展」におけるガイド 		<ul style="list-style-type: none"> 史跡めぐり案内（年4回：元刈谷、天誅組、一ツ木、重原コース） 小学3年生体験学習における案内、説明 一般からの「歴史の小径」散策ガイド依頼に対するボランティア派遣実施 郷土資料館案内補助 ボランティア養成講座開催 		<ul style="list-style-type: none"> 史跡めぐり案内（年4回：井ヶ谷、天誅組、まちなか、野田・半城土コース） 小学3年生体験学習における案内、説明 一般からの「歴史の小径」散策ガイド依頼に対するボランティア派遣実施 郷土資料館案内補助 	
成果		ボランティアの会員自身が歴史や説明方法を随時学習・調査するなど、積極的に向上心をもって活動している結果、依頼者からは好評をいただき、史跡めぐりの参加者アンケート結果からは平均して9割以上から満足との評価を得た。高齢者の社会参加の好ましい例として、内閣府より平成26年度ボランティア活動功労者表彰を受けた。ガイドボランティア養成講座を実施したことにより新たに5名の会員が加わり、会の活性化を図ることができた。							
課題		近年は各コースの駐車スペースが不足しており、従来依頼していた駐車場を確保することが難しくなっている。事務局が積極的に相談にのり、民間企業を含めた駐車スペースの見直しをする必要がある。							
	指標名称（単位）				実績値		目標値		
					24年度	25年度	26年度	27年度	29年度
活動指標	一般申込によるガイド依頼および小中学校の総合学習支援（件）				30	50	40	50	50
成果指標	史跡めぐり参加者（人）				218	280	261	280	280
他市との比較検証	にしお観光ボランティアガイドの会…モデルコース2コース、依頼ガイドへのガイド派遣実施 安城ふるさとガイドの会…モデルコース6コース、依頼ガイドへのガイド派遣実施 知立観光ボランティアの会…モデルコース2コース、依頼ガイドへのガイド派遣実施 高浜鬼みち案内人の会…モデルコース1コース、依頼ガイドへのガイド派遣実施（県観光協会HPより）								
C事業 コスト	単位：千円		24年度（決算）	25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（予算）	26年度事業費内訳		
	事業費①		179	182	182	182	合計	181,999円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	9,999円	
		一般財源	179	182	182	182	委託料	172,000円	
	職員人件費②		637	561	563	749			
	総事業費（①+②）		816	743	745	931			
建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		26年度特定財源名称				
	26年度までの累積事業費		0						
	28年度以降の事業費見込		0						

会計名 一般会計			小堤西池周辺整備事業				担当部	生涯学習部	
款	項	目					担当課	文化振興課	
10	5	2					担当係	文化財係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	歴史・文化財						
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用						
	目的	国指定天然記念物である小堤西池カキツバタ群落の隣接地を取得し、指定地と一体的な保護保全を図る。			主たる内容	小堤西池南側の土地5筆を取得する。			
	位置づけ	関連計画	小堤西池カキツバタ群落保存管理計画書						
		根拠法令							
		対象者	土地所有者（3名）		事業期間	平成25年度～平成27年度			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	24年度実績		25年度実績		26年度実績		27年度計画	
				・用地取得に向けた地権者との交渉		・用地取得に向けた地権者との交渉		・用地取得	
成果		用地取得に向け地権者と交渉した。							
課題		買収に向けての合意形成までには至らなかった。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
成果指標		取得筆数（筆）	24年度	25年度	26年度	27年度	29年度		
指標		—	0	0	5	—			
他市との比較検証	用地買収はどこの自治体でも行われているが、その事案毎に背景が異なるため、一概に比較検討することは難しい。								
C 事業コスト	単位：千円		24年度（決算）	25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（予算）	26年度事業費内訳		
	事業費①		0	0	0	6,738	合計 0円		
	財源	特定財源	0	0	0	0			
		一般財源	0	0	0	6,738			
	職員人件費②		0	351	1,408	1,647			
	総事業費（①+②）		0	351	1,408	8,385			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		26年度特定財源名称			
26年度までの累積事業費		0							
28年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			文化財保存管理事業				担当部	生涯学習部	
款	項	目					担当課	文化振興課	
10	5	2					担当係	文化財係	
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	歴史・文化財						
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用						
	目的	市所有の文化財の修理及び複製を作成することで、文化財の保存を図る。また郷土資料館分室で展示することによって、公開して活用する。	主たる内容	○市指定文化財「津田宣久判物」の修復を行う ○市指定文化財「水野忠重画像」の複製を作成する					
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令	文化財保護法、刈谷市文化財保護条例						
		対象者	対象者を限定せず	事業期間	平成26年度～平成27年度				
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画V	24年度実績		25年度実績		26年度実績		27年度計画	
		・「刈谷城絵図」の修復業務委託		_____		・「津田宣久判物」の修復業務委託 ・「水野忠重画像」の複製作成業務委託		・「華陽院画像」の複製作成業務委託 ・「伝通院像」（松本市玄向寺所蔵）の複製作成業務委託	
成果		・「津田宣久判物」の修復を行い、展示公開が可能な状態にした。 ・「水野忠重画像」の複製を作成し、原本を展示しなくても公開することができた。							
課題									
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				24年度	25年度	26年度	27年度	29年度	
成果指標		修復文化財数（点）			1	0	1	0	0
成果指標		複製作成文化財数（点）			0	0	1	2	0
他市との比較検証		豊田市では、平成24年度1点、25年度は2点、26年度は1点の修復を行った。							
C 事業コスト		単位：千円		24年度（決算）	25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（予算）	26年度事業費内訳	
	事業費①		499	0	1,350	3,394	合計	1,350,300円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	1,350,300円	
		一般財源	499	0	1,350	3,394			
	職員人件費②		106	0	106	449			
	総事業費（①+②）		605	0	1,456	3,843			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		26年度特定財源名称			
		26年度までの累積事業費		0					
28年度以降の事業費見込		0							

会計名		調査報告書作成事業				担当部	生涯学習部		
一般会計						担当課	文化振興課		
款	項					目	担当係	文化財係	
10	5					2			
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	歴史・文化財						
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用						
	目的	小堤西池カキツバタ群落の保護対策を図る。	主たる内容	○小堤西池カキツバタ群落保存対策調査委員会に原稿執筆を依頼し、調査報告書を発行する（3年に一度発行）。					
	位置づけ	関連計画		小堤西池カキツバタ群落保存管理計画書					
			根拠法令	文化財保護法					
		対象者	対象者を限定せず		事業期間	平成26年度～平成26年度			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	24年度実績		25年度実績		26年度実績		27年度計画	
						・調査報告書 400部作成 （執筆者、守る会：約130部、 県内図書館等：約120部、保存 分約100部等）			
成果		小堤西池カキツバタ群落保存対策調査委員会の協力により、池の植生調査や遺伝子多様性など調査結果を掲載することができた。							
課題		この調査内容をよりカキツバタ群落保護活動に生かしていけるよう検討していく必要がある。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				24年度	25年度	26年度	27年度	29年度	
活動指標	調査報告書発行回数（回）			—	—	1	—	—	
指標									
他市との比較検証	豊橋市「葦毛通信」平成25年12月より計19号発行								
C 事業コスト	単位：千円		24年度（決算）	25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（予算）	26年度事業費内訳		
	事業費①		0	0	382	0	合計	382,440円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費	93,000円	
		一般財源	0	0	382	0	需用費	289,440円	
	職員人件費②		0	0	352	0			
	総事業費（①+②）		0	0	734	0			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）			0	26年度特定財源名称			
26年度までの累積事業費			0						
28年度以降の事業費見込			0						

会計名			中条遺跡発掘調査事業				担当部	生涯学習部	
一般会計							担当課	文化振興課	
款	項	目					担当係	文化財係	
10	5	2							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	歴史・文化財						
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用						
	目的	中条遺跡の発掘調査で出土した遺物や調査記録を整理し報告書作成のための資料化を行うことで、市域の歴史解明の一助とする。			主たる内容	有識者による非営利団体である刈谷市埋蔵文化財発掘調査会へ委託して、発掘調査で出土した遺物の洗浄・注記・接合・復元・実測や調査記録図面・写真の整理・保存を行う。			
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画						
		根拠法令	文化財保護法						
	対象者	対象者を限定せず			事業期間	平成9年度～			
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	24年度実績		25年度実績		26年度実績		27年度計画	
		<ul style="list-style-type: none"> 平成11年度分拓本 平成11年度分断面実測 平成10年度分遺構図面整理 平成9・10年度分遺物観察表作成 平成9・10年度分調査記録写真整理 金属製品保存処理 		<ul style="list-style-type: none"> 平成10・12年度分拓本 平成10年度分断面実測 平成11年度分遺構図面整理 平成11年度分遺構図面トレス 平成9・10年度分遺物観察表作成 平成11年度分調査記録写真整理 金属製品保存処理 		<ul style="list-style-type: none"> 平成12年度分断面実測 平成11年度分遺構図面整理 平成11年度分遺構図面トレス 平成9・10年度分遺物観察表作成 平成11年度分調査記録写真整理 金属製品保存処理 		<ul style="list-style-type: none"> 平成12年度分断面実測 平成11年度分遺構図面整理 平成11年度分遺構図面トレス 平成10年度分遺物観察表作成 平成11年度分調査記録写真整理 金属製品保存処理 	
成果		報告書作成に向けた資料化を計画的に進めるため、作業委託先である刈谷市埋蔵文化財発掘調査会の調査員と各調査年度毎の作業内容・手順を確認できた。							
課題		出土遺物の量が膨大なため整理作業に時間がかかっている。また、作業に必要な資料をストックしておくスペースが狭く作業効率が悪くなっているが、ハード的な問題で改善できていない。刈谷城跡をはじめとする埋蔵文化財調査に時間を取られたことにより、個々の作業の指導・チェックを充分行えなかった。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			24年度	25年度	26年度	27年度	29年度		
活動指標	平成9年度発掘調査分整理作業進捗率（％）		85	90	95	100			
活動指標	全体整理作業進捗率（％）		75	80	85	90	100		
他市との比較検証	豊田市においては民間業者に委託して実施した発掘調査の場合、翌年度にその整理作業から報告書作成までを同業者に委託して報告書刊行までの期間を短縮する方針で進めている。安城市においては整理作業の民間委託はせず基本的に直営で行うが、発掘調査から3年のうちに報告書を刊行する方針で進めている。いずれの市も埋蔵文化財を担当する正規職員が3～5名いる。								
C 事業コスト 建設事業	単位：千円		24年度（決算）	25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（予算）	26年度事業費内訳		
	事業費①		5,000	5,000	5,000	3,400	合計	5,000,000円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	5,000,000円	
		一般財源	5,000	5,000	5,000	3,400			
	職員人件費②		707	1,052	1,056	1,198			
	総事業費（①+②）		5,707	6,052	6,056	4,598			
建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		26年度特定財源名称				
	26年度までの累積事業費		0						
	28年度以降の事業費見込		0						

会計名			埋蔵文化財発掘調査事業				担当部	生涯学習部
一般会計							担当課	文化振興課
款	項	目					担当係	文化財係
10	5	2						
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化					
		基本施策	歴史・文化財					
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用					
	目的	住宅建設や宅地開発等に伴う緊急対応の発掘調査を行い、埋蔵文化財の記録保存を行うことで、市域の歴史解明の一助とする。		主たる内容	宅地開発等に伴う緊急対応を行い、発掘調査が必要な案件は刈谷市埋蔵文化財発掘調査会へ委託して調査を実施する。			
	位置づけ	関連計画			刈谷市文化振興基本計画			
			根拠法令		文化財保護法			
		対象者		開発事業者及び市民		事業期間	平成13年度～	
		実施方法						
		<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業 D 実績 O 実績 V	24年度実績		25年度実績		26年度実績		27年度計画
a 窓口照会		690件	a 窓口照会	1009件	a 窓口照会	1051件	a 窓口照会	1000件
b 試掘調査		38件	b 試掘調査	37件	b 試掘調査	38件	b 試掘調査	35件
c 工事立会		19件	c 工事立会	17件	c 工事立会	22件	c 工事立会	20件
d 緊急発掘調査		3件	d 緊急発掘調査	2件	d 緊急発掘調査	1件	d 緊急発掘調査	2件
e 民間建築確認申請における対応件数	41件	e 民間建築確認申請における対応件数	63件	e 民間建築確認申請における対応件数	90件	e 民間建築確認申請における対応件数	75件	
	未対応件数	106件	未対応件数	124件	未対応件数	125件	未対応件数	100件
	※緊急発掘調査の発生件数であるため、見込みの数値。							
成果	増加傾向にある埋蔵文化財の窓口照会における取扱説明は的確に行うことができた。積極的に事業者へ協力依頼して事前の試掘・確認調査を行ったことで、開発事業が遺跡に及ぼす影響の度合いに応じて発掘調査あるいは工事立会など適正な対応をとることができ、試掘調査により新規遺跡の発見もあった。緊急発掘調査は、事業者と十分に協議し、最大限可能な範囲での調査面積・調査期間を設け実施し、必要な記録保存を行えた。							
課題	緊急発掘調査が多数生じた場合、年度予算内で対応できない状況が起こりうるため、今年度の緊急発掘調査でも相当のコスト削減意識をもって実施したが、通常の発掘調査に比べて必要最小限の記録にとどめざるをえなかった。窓口照会と同様に、民間の審査機関への建築確認申請も増加するなか、埋蔵文化財への対応ができていない事例があったため、開発事業者等に埋蔵文化財の取扱手続の周知を強化していく必要がある。							
指標名称（単位）			実績値			目標値		
			24年度	25年度	26年度	27年度	29年度	
活動指標	窓口照会件数（件）		690	1,009	1,051	1,000	1,000	
成果指標	民間確認申請対応率（％） ＝対応件数/（対応件数＋未対応件数）		27.9	33.7	41.9	42.9	44.4	
他市との比較検証	安城市のH26年度実績は窓口照会489件、試掘・確認調査26件、工事立会25件、発掘調査9件で、窓口照会件数は刈谷市より少ないが文化財保護法に基づく届出件数は68件と多く、多くの緊急調査に対応している。年間約1200万円（国庫補助含む）の事業費を執行する調査体制に加え、ホームページや広報誌への掲載、パンフレット配布等による埋蔵文化財の保護・取扱いに対する周知が刈谷市より進んでいる。							
C 事業 コスト 建設事業	単位：千円		24年度（決算）	25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（予算）	26年度事業費内訳	
	事業費 ①		3,070	748	573	1,215	合計	573,000 円
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	573,000 円
		一般財源	3,070	748	573	1,215		
	職員人件費 ②		354	701	1,408	1,123		
	総事業費（①＋②）		3,424	1,449	1,981	2,338		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		26年度特定財源名称		
26年度までの累積事業費		0						
28年度以降の事業費見込		0						

会計名			施設管理事業				担当部	生涯学習部	
一般会計							担当課	文化振興課	
款	項	目					担当係	文化財係	
10	5	6							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	歴史・文化財						
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用						
	目的	国の登録文化財建造物である「刈谷市郷土資料館」の適切な施設管理を図る。			主たる内容	○国の登録文化財建造物である郷土資料館の施設管理に要する経費 ○月3回の子ども向けイベントの実施等			
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画						
		根拠法令	文化財保護法						
		対象者	対象者を限定せず		事業期間	～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	D 実績	24年度実績		25年度実績		26年度実績		27年度計画	
		・指定管理者制度実施 ・月3回イベント実施 ・はた織り体験の土日祝日の常時実施 ・はた織り体験講座、親子はた織り教室実施 ・アウトリーチ事業の開催		・指定管理者制度実施 ・月3回イベント実施 ・はた織り体験の土日祝日の常時実施 ・はた織り体験講座、親子はた織り教室実施 ・480年記念事業と連携したイベントの実施に関する補助		・指定管理者制度実施 ・月3回イベント実施 ・はた織り体験の土日祝日の常時実施 ・はた織り体験講座、親子はた織り教室実施 ・480年記念事業を継承したイベントの実施に関する補助		・指定管理者制度実施 ・月3回イベント実施 ・はた織り体験の土日祝日の常時実施 ・はた織り体験講座、親子はた織り教室実施	
成果		月3回のイベントは、従来の市民だよりとホームページ、ポスターでの広報活動に加えて新たに2社の情報誌に掲載することで、参加者増に繋げることができた。 指定管理者との連絡を頻繁に行い、職員の意識徹底を行った結果、郷土資料館の利用者を対象に行ったアンケートでは97%以上の利用者から総合評価で満足との解答を得られた。							
課題		月3回開催のイベントでは遊びや生活体験を通して子ども達に歴史とふれあう機会を提供することができたが、今後も子ども達に郷土の歴史を啓発するため、子ども達の興味を引く新たなイベントの企画が必要である。							
O 実施	指標名称（単位）		実績値			目標値			
			24年度	25年度	26年度	27年度	29年度		
	成果指標	総入館者数（人）	11,831	15,716	12,289	14,000	14,500		
成果指標	はた織り等イベント参加者数（人）	1,327	1,597	1,656	1,400	1,400			
他市との比較検証	郷土資料館が昭和30年代の展示やイベントを実施するにあたり、参考とした館とその内容 ・北名古屋歴史民俗資料館（昭和30～40年代当時の食卓や駄菓子屋の再現展示。昭和期の企画展を行う） ・岡崎市岡崎むかし館（小学校の学習と連携した展示やイベント、博学連携を実施している） ・東郷町いこまい館（昭和30年代の教室を再現し、その教室を利用した高齢者への回想法を実施する）								
C 事業コスト	単位：千円	24年度（決算）	25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（予算）	26年度事業費内訳			
	事業費 ①	16,961	16,381	16,526	23,652	合計	16,525,869 円		
	財源	特定財源	0	4	7	0	役務費	79,995 円	
		一般財源	16,961	16,377	16,519	23,652	委託料	16,445,874 円	
	職員人件費 ②	566	912	845	898				
	総事業費（①+②）	17,527	17,293	17,371	24,550				
建設事業	全体事業費（単位：千円）	0		26年度特定財源名称					
	26年度までの累積事業費	0		コピー代実費徴収金					
	28年度以降の事業費見込	0							

会計名		郷土資料館施設補修事業				担当部	生涯学習部		
一般会計						担当課	文化振興課		
款	項					目	担当係	文化財係	
10	5					6			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	歴史・文化財						
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用						
	目的	国の登録文化財である「刈谷市郷土資料館」の適切な施設管理を行う。		主たる内容	空調設備を補修した。				
	位置づけ	関連計画 刈谷市文化振興基本計画							
	根拠法令								
	対象者	対象者を限定せず		事業期間	平成26年度 ~ 平成26年度				
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業 D 実績 O ハ 実 施 V	24年度実績		25年度実績		26年度実績		27年度計画	
		――		――		刈谷市郷土資料館研修室の空調設備が設置して25年を経過し故障したため、補修を行った。		――	
成果		研修室の空調設備の補修を行ったことにより、夏場の暑い時期の快適性を確保できた。							
課題		工期が7月の初頭まで掛かってしまい、気温が30℃を超えてもエアコンが稼働できない日があった。今後は工事の完了時期を念頭に置き、計画的に補修を行うようにする必要がある。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			24年度	25年度	26年度	27年度	29年度		
活動指標	施設補修件数		―	―	1	―	―		
指標									
他市との比較検証	刈谷市郷土資料館と同様に国の登録有形文化財である豊田市近代の産業とくらし発見館でもエアコンの設置がされており、平成27年3月に2台の交換が行われている。								
C 事業 コスト	単位：千円		24年度（決算）	25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（予算）	26年度事業費内訳		
	事業費 ①		0	0	535	0	合計	534,600 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	工事請負費	534,600 円	
		一般財源	0	0	535	0			
	職員人件費 ②		0	0	70	0			
	総事業費（①+②）		0	0	605	0			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		26年度特定財源名称			
26年度までの累積事業費		0							
28年度以降の事業費見込		0							